

会 報
92号



函館の歴史的風土を守る会
会報編集部

発行所 函館の歴史的風土を守る会
事務局 函館市五稜郭町43-9
五稜郭タワー株式会社内
電話(0138)51-4785
印刷所 旬三和印刷 電話 45-0845

40周年を迎えた「歴風会」

会長 佐々木 馨



昭和52年9月28日付けの『北海道新聞』に掲載された田尻聡子さんの「投書欄」一旧渡島支庁庁舎の開拓村移転を止め、現在地に残すよう強訴したあの名文—に始まる「歴風会」も今年、40周年を迎えます。1昨年には、第1回目の「函館市市民貢献賞」(団体部門)を頂戴しました。「歴風会」を母胎に、去る平成26年には五稜郭の世界遺産登録を目指す「五稜郭の文化価値を考える会」(略称「五文会」)を立ち上げ、昨年は函館市の景観保護と地域の活性化を幅広く起こすべく「函館景観まちづくり協議会」も創設しました。

恒例の「函館の町並みを美しくする新春チャリティパーティー」が、2月16日(金)、五島軒本店で開催され、実行委員長の清水憲朔さんと副委員長の清水桃香のご尽力のもと、今年もまた290名のご参加を頂きました。40周年を飾るにふさわしい盛況ぶりであったと思います。その概要については、後述をご参照ください。今年は2大イベントが控えており、その成功に向け関係者一同、奮闘しております。

<「開港5都市景観まちづくり会議」函館大会の開催>

平成5年の神戸大会に始まるこの会議を9月1日～3日の日程で開催すべく、「函館景観まちづくり協議会」を中心に準備を進めております。大会テーマは「未来につなぐ街づくり」であり、1日の「トークセッション」や2日の4つの分科会には是非多くの市民のご参加をお願いしたいと思います。昨年の「語り合おう港への想い」をテーマとした「新潟大会(平成29年9月1日～3日)」については後述の参加記をご参照ください。

<歴風会の40周年記念事業>

「歴風会」は創立10年に「函館のまちなみ」を刊行し、20周年には「会報 れきふう」を冊子化し、30周年には「函館の歴史と風土」を刊行しました。40周年には、景観形成と街づくりの記録としても貴重な資料である「会報 れきふう」を創刊号から現在の92号までを単行冊子として編集し後世につなげていきたいと思っています。それと併せて、10月20日には、祝賀会と講演会を予定しておりますので、こちらもご参加をお願いしたいと思います。

こうした2大イベントのほかに「五文会」では、当初の事業方針に則り、「五稜郭の文化価値」を検証する年2回の講演と5回の連続講座を今年も計画しております。詳細については、会報「五稜郭の三世」をご覧ください。最後に、平成21年に函館市都市建設部景観政策課と共同開催してきた「見て・聴いて・考える町並み」を一定の成果を上げたものと判断して昨年をもって終了したことを申し添えてご挨拶に代えたいと思います。

歴風文化賞選定基準

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 建造物自体の貴重性 | 5. 地域の町並みや社会全般への波及効果が大きい |
| 2. 持ち主が長年保存への努力を続けている | |
| 3. 景観への寄与 | 6. 諸々の制約の中で創意工夫が顕著である |
| 4. 歴史的性 | |

平成29年度 歴風文化賞 (第35回)



原風景 = 宣言文 =

大三坂 だいのさんざか

函館市

坂の両側に歴史的な和洋の家屋と教会が並び異国情緒を感じさせる大三坂。

坂上から函館の町並みを望むと、美しい石畳の坂と教会がエキゾチックな雰囲気を醸し出している。

街路樹のナナカマドも春の若草色から夏の濃い緑、秋には燃えるような紅葉に染まり四季折々に大三坂を彩っている。

過去から現在まで様々な歴史を見つめてきた「大三坂」は函館の原風景であることを宣言する。

保存建築物

函館どつく株式会社造船所第一本館

はこだてどつくはこだてぞうせんじやだいのいちほんかん

函館市弁天町20-3

函館どつく株式会社様



この建物は昭和10年に函館どつく株式会社造船所の社屋として鉄筋コンクリート造4階建てで建築された。

外観は地上から軒先まで伸びた柱と、柱をつなぐ梁が格子状に組み、堅牢で重量感を感じさせている。

内部は玄関に入った瞬間に落ち着いた昭和の懐かしい雰囲気を感じ取ることができ、建具、階段の手すり等も創建時のままである。1階の総務室、監査室、応接室、2階～3階の業務改善室、会議室、役員室、大ホール等も創建時のままの姿で大切に使用されており、現役で活躍している。

この建物は創建当時の姿で保存されており、現存数が減少している昭和初期における函館市の鉄筋コンクリート造建築の歴史を知る上で数少ない貴重な建築物である。



再生保存建築物

沖野 幸一郎

おきの こういち

函館市谷地頭町27-14

沖野 幸一様

この建物は昭和10年頃に建築された数寄屋造りの木造平屋建て住宅である。

施主は歴史ある住宅の再生が函館市と地域のために意義あることだと考え、平成22年から住宅の再生を開始した。土台から

上を持ち上げ基礎工事を行い、外観、室内全てのリノベーションを行い平成23年に美しい姿に蘇った。

外観は鼠色の漆喰が塗られた外壁が落ち着いた雰囲気を醸し出し、室内の建具、床材等もしっかりと保存され昭和初期の創建時の様子を現在に伝えている。

広大な敷地内には蔵や茶室が配置され、手入れの行き届いた和風庭園には各種の木々が植えられ、四季折々の美しさを見せている。

この建物は外観、室内共、創建当時の姿をしっかりと留めており、昭和初期における函館市谷地頭地区の和風住宅の歴史を知る上で貴重な建築物である。

再生保存建築物

福士博司邸隣接の土蔵

ふくしひろしにてりんせつのどぞう

函館市青柳町13-14

福士合名会社 代表社員 福士 博司 様

この建物は明治39年に函館区議会議員の明石正三郎氏が建築した土蔵の蔵である。その後大正時代に福士博司氏の曾祖父である福士長次郎氏が別荘として住宅と蔵を購入した。

蔵は創建時、護国神社坂上に建てられていたが、坂を拡張する区画整理事業により昭和10年頃に曳家で現在地に移動している。

昭和62年の漆喰壁の大規模な改修の後、屋根瓦、壁の鎧張り等、4回の補修を経て現在の美しい姿となっている。地下室付きの蔵内部は創建時のままの姿であり、明治から昭和時代の家財道具が大切に保存されている。

この建物は外観、内部共、創建当時の姿をしっかりと留めており、明治末期における函館市の蔵の歴史を知る上で貴重な建築物である。



再生保存建築物

BAR hanabi

ばー はなび

函館市宝来町34-1

金崎 昌之 様

この建物は明治末期に建築された土蔵の蔵である。

蔵は着物、反物、掛軸等の保管に使用されていたが、2010年にBAR hanabiとして改装、現在の姿となった。

外観は創建時の姿を残しつつ、後に付け加えられた風除室を蔵と調和するような意匠で再生させている。

内部のレトロな店舗は蔵内部に使われていた昔の材料を活用し、

オーナー自らがデザイン、施工を行った。2階部分の壁に石材の目地が露出しているのも特徴的である

現在は地元住民、観光客が訪れており、蔵内には毎晩楽しい話し声が溢れている。

この建物は創建当時の姿を留めてしっかりと再生されており、明治末期における函館市の蔵の歴史を知る上で貴重な建築物である。

団体賞

福島町史研究会

ふくしまちょうしけんきゅうかい

松前郡福島町字三岳73番地の1

福島町史研究会 様

福島町史研究会は1997年に設立、現在13名の会員により福島町の歴史について各種の調査、研究を行っている。

昔、松前藩の殿様が温泉や鷹狩に通った山道を歩く「殿様街道探訪ウォーク」は2001年から開始、2017年までに通算25回を実施した。ウォークは伊能忠敬や松浦武四郎、土方歳三らも踏破した福島町内の千軒地区から茶屋峠を越え三岳地区までの殿様街道を歩き、昔の歴史を学び親しんでもらいたいという活動である。街道の往復7kmの行程の中で中塚会長、スタッフは侍姿に扮し蓑笠を着け街道の歴史に関する説明を行っている。

来春には町の教育委員会と連携して作製中である伊能忠敬の銅像が福島町に設置される予定である。

福島町の歴史について調査、研究を行い、研究の成果を広める活動を実践している「福島町史研究会」の活動を高く評価する。



和やかな チャリティー一点描!



受付の風景



清水憲朔実行委員長、桃香副実行委員長御夫妻の挨拶



開宴の祝杯 函館市議会副議長 日角邦夫氏



今年も賑わった会場風景

受賞者代表謝辞

歴風会文化賞表彰の御礼

福島町史研究会会長 中 塚 徹 朗



受賞者挨拶 中塚徹朗氏

ただいまご紹介を頂きました福島町史研究会の中塚です。誠に僭越では御座いますが、受賞者を代表してひと言ご挨拶させていただきます。「第35回歴風文化賞」に、わたしどもの会を含め5件と原風景1点が選ばれましたこと、感謝と御礼を申し上げます。

以下私どもの会のお話をさせていただきます。わたしも福島町には殿様街道という歴史の道が大千軒山麓に江戸時代そのままに残って居ります。大黒屋光太夫・伊能忠敬・松浦武四郎・土方歳三と松前と函館を結ぶこの街道には、多くの歴史上の偉人がその足跡と物語を残しました。20年間25回。私たちはその歴史的風景の素晴らしさとなぜ

偉人が道を通ったのかお客様にお伝えしております。福島町はこの活動をご支援くださり、また、その偉人の中から、今年春、町内吉岡に伊能忠敬の蝦夷地上陸測量の銅像を建設することといたしました。

今日は福島町から高木副町長様、前田教育長様、はじめ無くては成らない仲間たち八名と参加させていただきました。

今回「歴史的風土を守る会」は函館市内の人々の心に残る歴史的風景と市外エリアを越えて広域に光を与えてくださいました。これを励みに地域の歴史と風土をなおいっそう磨き上げ充実した活動にしていきたいと考えます。

最後になりますが、「歴風会」様の今後のさらなる御発展と今日、ご参会の皆様方のご健勝をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。本日はまことにありがとうございました。



「歴風文化賞」受賞者を前に挨拶する佐々木会長



「歴風文化賞」授与式の様子



参会者を盛り上げた抽選会の様子



今年度の「ふるさと写真コンクール」入賞者の面々



フィナーレは恒例の「函館讃歌」で盛り上がる

実行委員長あいさつ

(はこだて外国人居留地研究会会長)

実行委員長 清水 憲 朔
副実行委員長 清水 桃 香

只今ご紹介いただきました清水憲朔です。

私は現在、はこだての開港からの外国人との交流の歴史を勉強している「はこだて外国人居留地研究会」の会長をしております。外国人居留地のあったことは現在忘れ去られています。かつては大町や船見町、元町・末広町・谷地頭などに何万坪とありました。

函館の和洋の建物などが混在する独特の街並はどのようにしてできたのかを考えているうちに、開港に歴史に関心が絞られていました。同時に函館の歴史の生き証人ともいべき歴史的建物に興味と愛着も感じるようになりました。

そして昭和五十五年にはこの五島軒本店の斜め向かいにあるアメリカの長老派の教会である、旧日本キリスト教会函館相生教会の建物に興味を持つようになり、建物を借り函館みやげとドイツ料理の店としてオープンしました。

その開店一、二年後だと記憶していますが、五稜郭のある食事のお店で偶然「歴風会」の設立者である田尻聡子さんとお会いしました。田尻さんから声をかけられ、「いいことをしましたね」と言われ激励を受けたことを思い出します。

私は商人であったので事業として興味をもち旧教会の再利用をしたのです。しかしその後は西部地区の街並みと古建築に強く関心を持つようになりました。

ところが三十数年前の田尻聡子さんの一言は、当時三十代でこれからどのように生きていこうかと悩んでいた私にとって、今後の人生への指針を与えてくれました。

今日の函館の街並みを美しくする新春チャリティーパーティーの開催にあたり、佐々木馨会長から妻ともども実行委員長の大役を命じられました。

本日は歴風会の創設者への御礼のつもりで力不足ではありますが妻ともども実行委員長を引き受けさせていただきます。

皆様のお力添えをいただき、本日の大会が有意義かつ楽しい会になりますよう心からお願いいたしまして開会の挨拶とさせていただきます。

チャリティービンゴゲームへのご協力、ご参加ありがとうございました

運営委員 我満 陽子

清水憲朔実行委員長、清水桃香副実行委員長にご協力いただき290名の方のご参加のもと、記念すべき第40回目の表彰式、パーティーを盛大に執り行うことが出来ました。

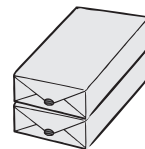
景品の全てが協賛していただいた皆様方の寄贈品で成り立っているのが当パーティーで行われるビンゴゲームです。そして、何が当たるかわからない……ではなく、景品の中からご自分の欲しいものを手に入れるチャンスがあるのも当会ビンゴゲームの特徴です。食器や文房具、洗剤などの日用雑貨からブランドのネ

クタイ、ハンカチ、財布やバック、日本酒やワイン、函館の名産物を含む様々な食料品などなど。これもひとえに景品を提供してくださった企業・個人・関係各位の皆様方のお陰と感謝申し上げます。

お陰様で用意しておりました350枚のビンゴカードも完売しました、本当に有難うございました。来年も参加してくださる皆様方により一層楽しんでいただける様にと、いろいろな企画を考えていきたいと思っております。来年も皆様方のご参加、ご協力のほどどうか宜しくお願い申し上げます。



チャリティーパーティのビンゴ商品のご提供 ありがとうございました



第40回函館の町並みを美しくする新春チャリティーパーティへの景品のご提供に御礼申し上げます。

五稜郭タワー(株)、(株)五島軒、函館山ロープウェイ(株)、(株)オオタカ函館、(株)青函設備工業、中島孝内科循環器科医院、北海道コカ・コーラボトリング、(株)ニューメディア函館センター、(株)URK環境設計研究所、STYLISH SALON HAIR PIECE・AKITA、ギャラリー杉本、ギャラリー村岡、POPくらぶ、花かるた、(有)三和印刷、(有)タカオ工業、金森商船(株)、(株)元町マリンハウス、(株)リード不動産、料亭・富茂登、旧相馬邸、原田組、坂本仕出し店、今整形外科

(歴風会会員)	佐々木 馨	落合 治彦	清野 恒夫	吉村富士夫	新城 光正	里見 泰彦
	石井 満	柳田 真宏	斉藤 サダ	桜井 拓郎	小林八重子	島 昌行
	原谷 紀昭	石田 恒彦	今 千尋	辰村 和子	安井 徹	中島マキ子
	斉藤 光子	児玉 幸子	小山 直子	高田 京子	藤井 康夫	対馬 栄子
	佐藤 国男	対馬 誠	田島 優子	薩来 俊彦	我満 陽子	(順不同・敬称略)

※記載もれがありましたらご容赦ください。

第15回 ふるさと写真展開催



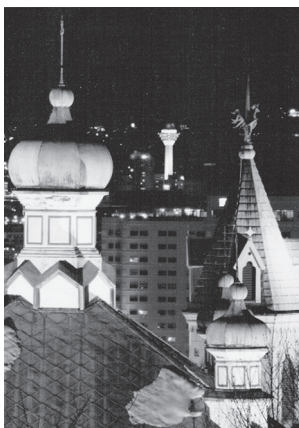
【今年はまちセンでの受賞記念写真】

十字街まちづくりセンターでの表彰式。父兄の方も参加しています。

今年で15回目を迎えた写真展、今年は56点の作品があつまりました。昨年より出品数は少なくなりましたが、ご覧のようにすばらしい作品が集まりました。

地元の食卓を支える市場の生き生きしたおばあちゃん！すぐにでも観光ポスターになる教会群と遠方の五稜郭タワー、市電の前身馬車鉄道ができて120年函館の市電の勇姿等・・・いつも思うのですがカラーで紹介出来ないのが残念です。

応募受付にご協力いただいた五稜郭タワー、五島軒の皆様方に感謝申し上げます。(運営委員 新城光正)



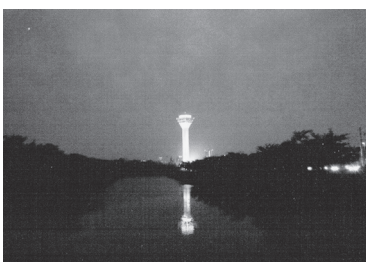
【歴風会長賞受賞作品】



【金賞受賞作品】



【企業局長賞受賞作品】



【銀賞受賞作品】



【銀賞受賞作品】



【銀賞受賞作品】

《入賞者氏名》(敬称略)

▶金賞	今在麟太郎 (あさひ小4年)	【いつもの魚屋さん】		
▶歴風会長賞	山崎 亮太 (柏稜高2年)	【『メルヘンな世界』】		
▶企業局長賞	松原 亜門 (ラ・サール中3年)	【ノスタルジア】		
▶銀賞	加村 妃莉 (東山小6年)	吉本 有秀 (函館中部高1年)	菊地 陽菜 (あさひ小6年)	
▶銅賞	吉本 有秀 (函館中部高1年)	西井 武尊 (ラ・サール中2年)	肝付 凱帆 (ラ・サール高2年)	
	山崎 亮太 (柏稜高2年)	竹下 愛希 (高盛小1年)		
▶佳作	久保田 豊広 (深掘小1年)	石井 大貴 (あさひ小2年)	竹下 夢希 (高盛小5年)	
	加村 妃莉 (東山小6年)	肝付 凱帆 (ラ・サール高2年)	田村 正幸 (附属中2年)	
	蔵谷 楽 (千代ヶ岱小4年)	川原 希優 (深掘小4年)	牧野 寛憲 (ラ・サール中1年)	
	山田 遼輝 (ラ・サール中1年)			

開港5都市景観まちづくり会議・新潟大会 (平成29年9月1日～3日)



第1分科会

開港5都市景観まちづくり会議2017新潟大会に参加して —新潟センチメンタル・ジャーニー—

運営委員 櫻井 拓郎

新潟大会では、歴風会の里見泰彦さん、函館市都市建設部景観政策担当課長の長谷山裕一さん、北海道教育大学函館校の学生・飯尾遼太さんとともに第1分科会「五港のなかの新潟」に参加した。私はかつて社会人1年目を新潟日報本社で過ごしたため、新潟は今も

思い出の地である。大会前夜には、三条支局で担当した元加茂市役所広報広聴係の方と旧交を温め、大会初日には全体会場の日報本社で元同僚に会った後、開会式に出席した。懐かしい信濃川の夜景を楽しみながらのウェルカムパーティー。2日目の分科会では、杉山



旧齋藤家別邸にて(第1分科会参加者)



イタリア軒で昼食をとる函館メンバー

節子先生らのご案内により幕末・明治・大正期の文化遺産を見学。新潟市役所(旧県庁跡地)前に集合し、旧県会議事堂・白山公園、豪商齋藤家本宅「燕喜館」などを観て回った。西堀通りを歩いて新潟市歴史博物館「みなとぴあ」へ。新潟日報では市役所(現NEXT21)市政記者クラブの教育担当だったため、郷土資料館だった旧新潟税関に何度も通った場所である。湊町通りの老舗見学と蒔絵づくりの実習の後、日本現存最古の西洋料理店「イタリア軒」で豪華な昼食。午

後は阿賀野川に臨む旧横越町、竹穂垣の庭が美しい石本酒造見学と「越乃寒梅」試飲、旧齋藤家別邸の見学と茶会を堪能した。その夜は、昔と変わらない新潟駅万代口近くの居酒屋で、新潟日報の先輩方と懐かしく飲むことができた。スタッフの皆様にご心より感謝すると共に、函館大会での再会を楽しみにしております。

第2分科会

坂口安吾に関して(寄稿)

函館市伝統的建造物群保存会会長 小林 敏夫

安吾とは、昨年新潟に赴くまで知らなかった。

しかし2日目の分科会の日から一変しました。

「坂口安吾」、私はこの人の49才の人生の生い立ち、人間関係、人生観等、彼の生涯に興味を持ちました。

新潟市の新聞社社長、衆議員の父を持ちそして上京し、文学を試し太宰治らと近現代日本文学を創刊、彼は純文学から歴史、推理と言わず、批評の類に至るまで幅広い、約200数編の作品を残した。

代表作として「墮落論」、長編「吹雪物語」では満州への玄関口として繁栄した昭和初年の新潟を鮮明に描き出した。

この他、少年期の記憶を描いた「石の思ひ」等数多くあります。

しかし彼の晩年、反社会的現実との関係との関わりが判明、刑務所にも数回、現在彼の墓は新潟の一面に有り、御子息が見守っております。

第3分科会

『古くて新しいを知る～沼垂地区に学ぶ、まちのブランディングと再生ストーリー～』に参加して(寄稿)

函館市都市建設部まちづくり景観課 上田 亮平

初めての参加となった新潟大会は、3日間があったという間に感じるほど参加者を楽しませる企画が盛り沢山で、新潟の方々のおもてなしを感じ、大変有意義に過ごすことができた。



ここでは、私が参加した分科会3を紹介する。(原稿の都合上簡潔だが、ご了承願いたい。)

まずは、「地域の財産を活かしたブランディング戦略とまちづくり」をテーマに、シャッター商店街を個性的な商店街へと再生した事例や、伝統食をモダンデザインで再生した事例の紹介があった。

その後、見どころ説明してもらいながら沼垂地区をまち歩きし、酒蔵や味噌蔵の見学、試飲やお土産の購入、お昼には地場産の素材を活かした郷土料理をいただき、まち歩き後には、ワークショップにて分科会を振り返り、終了した。

平成30年度の函館大会に向け「函館景観まちづくり協議会」も発足され、気持ちも盛り上がりつつあります。参加される全員に満足いただける大会となるよう、皆さんと準備を進めていきたい。

第4分科会

分科会4について(寄稿)

Code for Hakodate

中村 拓也

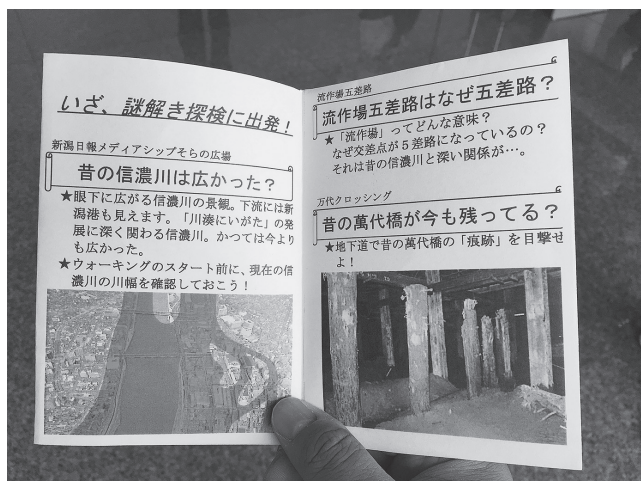
昨年に続いて執筆の機会をいただきました中村です。弊社団体では最近ではWikipediaの内容の間違い等が気になる方々と一緒に自分たちで記事を編集するための初心者講習を含めた「ウィキペディアタウン函館」というイベントを行っております。ご助言だけでも助かりますので、開催の際はぜひご参加ください。

この度大きな話題になったのは、2016年7月30日NHKで放送の「プラタモリ」で新潟が取り上げられたことです。当時番組に出演・協力した方々も参加した会だったというのは、一体感のある会となったかと思います。

今回は「分科会4 川と湊がつくる景観 ～川湊の歴史をたどるウォーキング～」に参加しました。冒

頭に手刷りの小冊子が配られ、そこに書かれた謎を解きながらコースを巡っていきます。コースの内容としては、信濃川と街の関係を語るに当たってなくてはならない萬代橋(ばんだいばし)のまわりを大きく回っていく形になっておりました。

途中、信濃川の水辺活用、浦安橋遺構に見える堀の名残、そして信濃川ウォーターシャトルで食事をしながら信濃川がどう変わってきたかを聞きながらのクルーズ、早川堀通りでは堀の復元や旧小澤家住宅の見学などを行いました。函館では水道関連施設の親水設備は充実しておりますが、海や川についてはもう少し楽しめる何かができるかもしれません。



れきふう トピック!

開港5都市景観まちづくり会議

本年は、9月1日～3日函館市での開催!

「開港5都市景観まちづくり会議」は、安政5年(1852)に開港された横浜・神戸・長崎・新潟・函館の5都市が集まり平成5年(1993)神戸市を皮切りに毎年交替で開催し、函館市では平成8年(1996)、同14年(2002)、同20年(2008)、同25年(2013)開催され、今年5回目の函館市開催となる。

平成30年9月1日～3日の日程で、テーマ「北からの新たな模索と創造」で企画され、9月1日:全体会議(I)トークセッション(ウエルカムパーティー)、9月2日:分科会(3分科会)(オプションルツアー)、9月3日:全体会議(II)・代表者会議が予定され、実行委員会を立ち上げ取り組んでいる。

「函館景観まちづくり協議会」設立!

平成29年8月29日、市内約30余の団体や会員が集まり、「函館景観まちづくり協議会」を設立し、当会の佐々木馨会長が本協議会会長に選出された。

従来、函館市都市建設部都市デザイン課が中心となり10年間実施されてきた“見て、聴いて、考える町並み～住む人の思いに触れて～”の企画が本年で終了したことに依るものであろう。この企画は非常に市民の高い関心を集め毎回倍近い応募があった企画で、当会でもその主旨に賛同し、見学場所の説明員や講師を派遣してきた。これが終了されることに、一抹の淋しさがあった。規約によれば代表者は2ヶ年間の任期で、所属団体に事務局を置くことになっているが、土台がしっかり固まるまでは市当局の全面支援が望まれる。この協議会が市当局の今後の町並み保存活動に大きく羽ばたくよう期待する。

平成30年度「五稜郭の文化価値を考える会」の開催予定講演と講座

『五稜郭の文化価値を考える会』は、本年度会報(第7号)「五稜郭の三世」＝過去・現在・未来＝を発行し、前年同様講演会を2回、連続講座を5回企画している。

- | | | | | |
|----------|--------|-----------------|------------|------|
| ・第1回講演会 | 4月21日 | 「箱館戦争を五稜郭」 | 元箱館奉行所館長 | 田原良信 |
| ・第2回講演会 | 10月13日 | 「箱館友好と五稜郭」 | NPO箱館写真の会 | 野戸崇治 |
| ・第1回連続講座 | 6月15日 | 「弁天台場と箱館戦争」 | 函館の歴史を学ぼう会 | 茂木治 |
| ・第2回連続講座 | 7月27日 | 「館城と箱館戦争」 | 厚沢部町学芸員 | 石井淳平 |
| ・第3回連続講座 | 11月16日 | 「五稜郭の築城」 | 市立函館博物館学芸員 | 保科智治 |
| ・第4回連続講座 | 12月7日 | 「歴史古道を探る」 | 古道研究家 | 毛利剛 |
| ・第5回連続講座 | 2月15日 | 「村垣淡路守の公務日記」を読む | | |

はこだて外国人居留地研究会会長 清水憲朔

“歴風会” 40周年記念事業決まる！

顧問 落合 治彦

田尻聡子さん《元歴風会副会長・故人》の昭和52年9月28日(北海道新聞)への「旧渡島支庁庁舎の開拓村(札幌市)への移転を止める」の投書から結成された『函館の歴史的風土を守る会』が今年40周年の記念すべき年度となる。創立40周年の記念事業として10月20日記念講演と祝賀会、40周年記念誌「会報『れきふう』」にみる「歴風会の歩み」の発行を櫻井拓郎運営委員を中心に計画中です。

会 務 日 誌

H29. 5. 14
平成29年度 総会 (24名)・懇親会 (21名)

H29. 6. 5
第1回運営委員会 (16名)

H29. 6. 16
「五稜郭の文化価値を考える会」第8回講演会

H29. 7. 19
第2回運営委員会 (14名)

H29. 8. 24
第3回運営委員会 (14名)

H29. 8. 25
「五稜郭の文化価値を考える会」連続講座第1回

H29. 8. 29
「函館景観まちづくり協議会」発足会

H29. 9. 1~3
開港5都市景観まちづくり会議新潟大会出席 (4名)

H29. 9. 10
「見て、聴いて、考える町並み」

H29. 9. 29
第4回運営委員会 (13名)

H29. 10. 13
「五稜郭の文化価値を考える会」連続講座第2回

H29. 10. 26
第5回運営委員会 (13名)

H29. 11. 17
「五稜郭の文化価値を考える会」連続講座第3回

H29. 11. 28
第6回運営委員会 (15名)

H29. 12. 15
「五稜郭の文化価値を考える会」連続講座第4回

H29. 12. 23
第7回運営委員会、C P 第1回実行委員会 (22名)

H30. 2. 8~13
第15回ふるさと写真コンクール展示会
(まちづくりセンター)

H30. 2. 9
「五稜郭の文化価値を考える会」連続講座第5回

H30. 2. 11
第8回運営委員会、C P 第2回実行委員会 (24名)
第15回ふるさと写真コンクール表彰式

H30. 2. 14~17
第15回ふるさと写真コンクール再展示会
(タワアトリウム)

H30. 2. 16
第35回歴風文化賞授与・町並み基金贈呈式及び
第40回新春チャリティーパーティー (283名)

H30. 3. 15
第9回運営委員会
C P 第3回実行委員会及びご苦労さん会 (12名)

H30. 4. 9
第10回運営委員会

*** 編 集 後 記 ***

会報「れきふう」第92号の発行が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

昨年29年度は、当地も天変大雨地異に見舞われましたが、お陰様で2月16日無事「新春チャリティーパーティー」を終了出来ました。実行委員長、副実行委員長をお引き受けくださった清水憲朔、桃香御夫妻に会員一同心から感謝申し上げます。同時に前回同様御参会いただいた市民の皆様がお寄せくださいました「町並み保存への熱意」に心強いメッセージを「歴風の宝」として大切に次代へ受け継ぐ覚悟でございます。

今年は「歴風会」創立40周年、開港5都市函館大会の記念すべき重要な年ですが、この市民の力強いバックアップがあればこそ無事乗り越えられるものと勇気がみなぎってきました。

小中学生による写真展は応募が57点と例年に比べ減少しましたが、市の文化・歴史への注目を育てる重要な行事としており、新城会員ひとりに負う所大、尽力されている。

本号は、新潟大会に出席された皆様はじめ、築地晶二様、新城光正会員より写真提供いただきました。深謝申し上げます。

「歴風会新会員の募集」

当会では、新会員のご入会を募っております。

会費は年会費として

・個人会員会費 3,000円

・個人学生会費 1,000円

・団体会員会費 5,000円

多くの方のご入会を心よりお待ちしております。